■ 育苗期における主な苗立枯病

	病名 ピシウム菌(別名:ムレ苗)		
	症状	出芽後、地際水浸状に褐変、急激にしおれ枯死、カビ発生無	
	原因	温度管理と水掛方法(急激な温度差・日中の水掛)	
対策 タチガレエースM液剤の使用、日中のかけ水は し温度差を解消。		タチガレエースM液剤の使用、日中のかけ水はくみ置き水使用 し温度差を解消。	

病名	病名 フザリウム菌		
症状 発芽直後~、根・地際部褐変、黄化枯死。地際部白又は紅色 状カビ			
原因	過度の乾湿、昼間30℃以上夜間10℃以下の管理		
対策 タチガレエースM液剤の使用、温度管理、肥料切れ注意。			

病名	リゾープス菌
症状	 種子層・床面に白いカビ。出芽・生育・根の発育不良
原因	過度の乾湿、出芽期間32℃以上の管理、育苗資材の不衛生。
対策	育苗箱・出芽器の洗浄、施設清掃。播種時の水量と播種時ダコニール1000かダコレート水和剤の使用、出芽期間の温度。

病名	もみ枯細菌病		
症状	新葉基部と葉鞘部が白色~淡黄色→腐敗枯死、新葉は容易に抜ける。坪枯れ症状。		
原因	循環催芽で発生拡大、出芽温度が32℃以上、被覆資材の2度 掛け、育苗資材の不衛生。		
対策	出芽温度は32℃を超えないで、被覆期間を過剰に長くしない。出芽 後の再被覆は行わない。緑化期以降は25℃以下、育苗箱の洗浄。		

■ 除草剤の上手な使い方

除草剤は、上手く効く環境を作ってやることで、最大限の効果を発揮することができます。決 して安くはない除草剤ですから、使用する前に使う環境をもう一度チェックしましょう。



整地、代掻きは丁寧に

田面が露出していると除 草剤の効果が十分に発揮 できません。



処理時の水深は3~5cm

十分な水深を保つことで 除草剤の効果が安定しま す。



効かせるコツは ○葉期の前に散布!

ラベルに「〇〇葉期まで」と書かれている使用時期より0.5葉期早めると効果的です。



落水、かけ流しはダメ!!

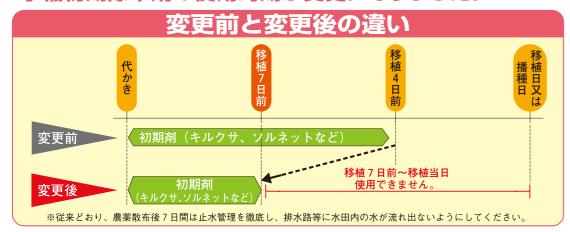
薬剤処理層を安定させる ため、処理後1週間は落 水もかけ流しも行いませ ん。



処理後の水管理を十分に

散布後は田面を露出しないような水管理を。ただし、かけ流しは行いません。

水稲初期除草剤の使用時期が変更になりました。



使用方法を誤ると農薬取締法違反(使用基準の逸脱)となりますので、十分なご注意を!

No. 2



農業技術情報



平成26年5月発行

監修:仙北地域振興局農林部農業振興普及課

~ 基本に忠実な健苗育成を ~

■ 素早い出芽と温度管理を

無加温出芽(ベタ置き)は、低温条件下では出芽までの時間がかかります。適切な保温資材の 選択とハウス内の保温に努めましょう。この期間は天気が変わりやすく、少しの日差しでもハウ ス内温度が急激に上昇する場合があります。出芽までは、床土温度が30℃以上に上がらないよう にハウス開閉などで調整します。特にハウスビニールを新調した方は注意が必要です。

また、曇雨天が続き、床土温度が上がりにくい場合は、日中はシートを外し温度を上げるか、 夜間保温に努めます。また、遅霜や夜間低温が予想される場合はローソク等を利用して、冷たい 空気の停滞を防ぎます。

◎被覆シートの特徴と注意点

資 材 名	効 果	特徴及び注意点		
ミラシート (白スポンジ系)	保温、保湿	保温効果に優れることから、低温が予想される際には効果有り。 反対に温度が高い場合は床土温度が上昇しやすいため苗ヤケの発 生に注意。		
シルバーポリトウ (ポリ + アルミ複合)	保温、保湿、遮光	表面のアルミにより遮熱効果があり床土の高温防止に役立つ。低 温時にも保温効果が期待できる。被覆する際には裏表を確認する。 床土温度にも注意を払う。		
太陽シート(反射系)	保温、保湿、遮熱	高温時における急激な床土温度上昇を防ぎ苗ヤケ等の高温障害を 防止。低温時は床土温度が上がりにくく出芽日数がかかりやすい。 床土温度を上げる工夫が必要。		
ラブシート (不織布)	保温、通気、通水	単独で使用すると過乾燥しやすい。他シートと組み合わせて使用 する場合は、ラブシートは下に敷き、その上に他シートを被覆す る。		

加温出芽する際は、育苗器使用前に必ずサーモの確認をしてください。温度設定は30℃を目安とし、水槽がある育苗器では水を切らさないように最初の24時間は特に注意を払いましょう。

育苗器内に育苗箱を詰め込み過ぎると、空気循環が悪くなるため出芽不揃いにつながりますので、規定容量以上には詰め込みません。出芽長は稚苗 1 cm、中苗0.5cmを目標にします。出芽長が伸びすぎると腰高な苗に生育してしまい、その後も徒長気味に進む恐れがあります。



農機具共溶

稼動前に

と あ

●1台当り2,000万円まで加入OK!●新品価格までの加入が大事です。

ゆとりの農作業を…



■ 育苗本番!良い米は苗づくりから

昔から苗半作、苗七分作と言われるように高品質なコメ作りには健苗育成が欠かせません。緑 化期以降は目標とする苗姿に向けて、温度管理を中心に気をつけましょう。

◎育苗目標

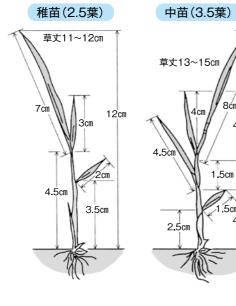
苗の種	類	稚 苗	稚・中苗	中苗
育苗期	間	20~25日	30日	35~40日
葉	数	2.5 葉	3.0 葉	3.5 葉
草	丈	10∼13cm	13㎝前後	13~15cm
必要箱 (10 a 当:		70 株 … 19 箱 60 株 … 16 箱 50 株 … 14 箱	70 株 …21 箱 60 株 …18 箱 50 株 …15 箱	70 株 …22 箱 60 株 …19 箱 50 株 …16 箱
播種	量	乾 籾:144g/箱 催芽籾:180g/箱	乾 籾:120g/箱 催芽籾:150g/箱	乾 籾: 80g/箱 催芽籾:100g/箱

◎ハウス内温度の目安

12cm

稚	苗	中	苗
第1葉鞘長	$3.0\sim3.5$ cm	第1葉鞘長	2.5㎝程度
緑 化 期	昼:20~25℃ 夜:10~12℃	播種後 20 日間	昼:20~25℃ 夜:5℃以上
硬 化 期	昼:開放 夜:5℃以上	2.5 葉期以降	昼:開放 夜:5℃以上

◎苗姿の目安



作業計画を立てて丁寧な耕起を心がけましょう。

◎根を深く張らせる環境づくり

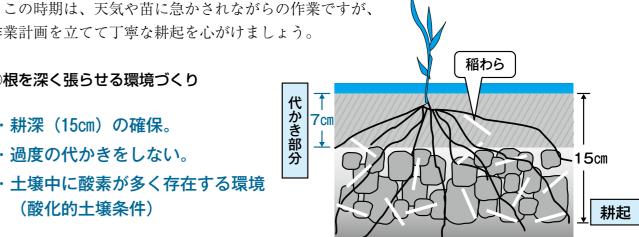
かきは7cmを目標に行います。

になっています。

- ・耕深(15cm)の確保。 ・過度の代かきをしない。
- ・土壌中に酸素が多く存在する環境 (酸化的土壌条件)

し、その後の作業に影響が出てしまいます。

■ 勝負の土俵作りは田起こしから



■ 水管理は朝イチたっぷりかん水

ベタ張り除去後は、覆土の持ち上がりを落とす程度にかん水します。また、露出した種籾があ るようなら、見えなくなる程度に覆土をします。

育苗期間中のかん水は朝にたっぷりとかけるようにし、日中はかん水は行いません。やむをえ ず、かん水する場合はハウス内等で溜め置きした水をゆっくりとかけ、苗にストレスを与えない ようにします。

■ 栄養つけて、いざ田んぼへ!

苗をよく観察して葉数や葉色に応じて追肥を行いましょう。種籾内や床土の養分が少なくなっ てくると葉色が淡くなってきます。苗が栄養不足になる前に、追肥を実施し栄養補給をしてあげ ましょう。

また、栄養不足状態で田植えをすると活着に時間がかかってしまうため、田植え前に追肥を行 うことをおすすめします。

○育苗追肥時期の目安(箱当たり窒素g)

	稚 苗	中苗
1.5 葉期	l g	_
2.0 葉期	_	1 g
3.0 葉期	_	l g

◎育苗追肥資材例

	現物量	窒素成分	水量
液肥 2 号	10ml	1.0 g	1,000ml
サイコー12号	8 g	1.0 g	_

※サイコー12号は散布後にかん水を行います。

➡苗姿の目安(実物大) 実際にハウスで観察してみましょう!

田植えは、温暖な日に

田植えは、日平均気温で稚苗13℃、中苗14℃以上の日に行います。日中の最高気温が20℃以上 の日に実施することが理想で、最高気温が15℃を下回る日には田植えは行いません。老化苗は活 着が悪いため、適正な葉数で田植えをします。栽植密度は70株/坪を基本とし、1株あたりの植 え付け本数は、稚苗で4~5本、中苗で3~4本をします。初期分げつを安定的に確保するた め、植え付けの深さは稚苗2cm、中苗2.5cmとし、3cm以上の深植えにならないように注意をし ます。

近年、トラクターの高馬力化や短い作業適期の影響で、浅い耕深や田面の高低差が目立つよう

耕深の確保は、稲の根域拡大や養分供給量の増加などの効果が期待できます。耕起は15cm、代

田面の高低差は、耕起の善し悪しで決まります。耕起で田面がデコボコになってしまうと、田

植え時に深植えや浅植えになったり、水面から田面が露出し除草剤や肥料の効果にムラが出たり

◎深植えしたくなる不安な気持ち・・・

- ・土が締まり植穴が戻らないのではないか
- ・水を入れたら浮き苗になってしまうのではないか
- ・除草剤同時散布なので薬害が心配だ

上記の対策

- ●荒かき・仕上げかきの2回実施し、代掻き~田植えの間をあけない。
- ●健苗を育て、強風・低温時の田植えを避け、活着を促す水管理をする。
- ●除草剤同時散布の場合、田植え時の水を落としすぎない。